

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 令和7年度

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関やスタッフルームに掲示し共有と実践に努めている			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域サロンへの参加の再開や行事への地域の方や他事業所の方の参加を通して交流ができた	地域サロンへの参加やラーメン作りの行事に地域のボランティアさんや他施設の方にも参加して頂き好評だったので今後も取り組みを継続していきたい。輝陽園でもサンマパーティーをやるので来てください		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	会議の参加者が減少している為、幅広い意見が聞けていない	民生委員や町内会長、近隣の学校の先生など 令和8年度の第一回の会議からできる様に進めていきたい		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主にグループホーム連絡会を通して柏市との協力関係は築けている。分からないことは電話やメールにて問い合わせしている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	指針を整備し身体拘束廃止委員会を3カ月毎に開催し、年二回の研修を行っている。できるだけ開放的な生活を提供したいが安全の為、やむを得ず玄関は施錠している		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束防止委員会を設け全職員を対象に身体拘束や不適切ケアの対策等について職員の共有認識を図っている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止についての指針を整備し虐待防止委員会を定期的に開催して年2回の研修を実施している		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委員会にて研修を行い防止に努めている。原因不明のちいさなアザがあった時などは、様々な角度から原因を推測し原因究明に努めている
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	今年度は外部の研修に参加できなかった			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約時に十分な説明を行い、納得、理解が得られるように努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	相談、苦情窓口を設け連絡先を玄関や契約書に掲示している。運営推進会議や面会時に頂いた意見は施設長などに報告するように努めている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族には、運営推進会議等にて要望を聞くようにしているが zoom での面会や普段の様子ができるように広報誌を月一回発行し、家族とのコミュニケーションを図っている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	半期ごとの個人面談時に意見を聞く様に努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事考課にて細かい点まで評価できるようにしている。定期的な研修会や資格取得の援助を行っている有給休暇が取りやすい様に配慮している		い	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体で定期的に研修を実施している。研修の動画を制作し全員が受講できるようにしている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体合同で定期的に事例検討会や研修を研修委員が中心になり実施している。新たに動画を制作することで適時、勉強できる様になっている
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム連絡会を通じて交流、意見交換はできている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭的な雰囲気を大切にし、家事や特技などは無理のない範囲で行ってもらうように援助している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	遠方の家族とは ZOOM にて面会できる体制になっている。家族の確認をとったうえで、友人の面会も積極的に受け入れている。			

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的なアセスメントや普段の会話などから希望や想いを探り、ケアに反映している。意思表示の出来ない方は表情や生活歴から気持ちを汲み取るように努めている			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月ケアプランのモニタリングを行い必要に応じてカンファレンスやプラン変更を行っている。カンファレンスに家族の参加してもらい意見を聞くこともある		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的にプランの見直しやカンファレンスを実施している
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケース記録やケアプラン実施表を記入し月末に考察を行いケアに活かす様にしている		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケース記録に記入し共有している。毎月ごとに考察を行い変化に合わせてケアプランの見直しをしている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	要望に常に耳を傾け実現できるように努めている。食事イベントや芋ほりなど多様なイベントを可能な範囲で実施している。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歌や体操、ダンスのボランティアを活用し楽しめる機会を設けた	ボランティア団体以外の地域資源についても学びを深めていきたい		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	隔週で提携病院の内科医の往診があり、必要であれば各種検査にも対応している。希望の病院がある場合は、そちらの受診を支援している			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師の往診時や医療連携室から情報聞く様にしている。提携病院以外の場合は、こまめに家族やソーシャルワーカーと連絡を取るようにしている			

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に説明し急変時の意向を確認している。入居後は必要に応じて終末期の意向について再確認し、家族や医師と十分に話し合った上で希望に沿うように支援している		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に、重度化した場合の事業所方針を説明している。終末期に意向を再確認し、医療的処置がなければ看取りが出来ることを伝えている。家族の協力を得ながら、医師の指示のもと、看護師、ケアマネジャー、介護職がチームケアで支援に取り組んでいる。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変マニュアルを作成している。酸素吸入やADLの使用法や心肺蘇生法の訓練を行っている			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	BCPを作成し消防署立ち会いを含む避難訓練や消火器訓練を定期的に行っている。災害用トイレやヘッドライト、発電機も準備してある	避難訓練などにご家族の参加(見学)する機会があってもいいのではないかと？消化器訓練や心肺蘇生法は役立つこともあるのでは	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	早い時期からBCPの作成がされており、訓練なども十分に行われている
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	パーソンセンタードケアの実践を心がけており、法人内の有資格者によるマッピングを実施することでケアの向上を図っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者を「一人の人」として尊重し、その人の視点や立場に立って理解し支えようとしている。呼び方や言葉使いに配慮しその人らしさに結び付くケアに取り組んでいる。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事時間以外は決まりはなく個々のペースに合わせるようにしている。脳トレドリル、塗り絵、ゲーム類などを準備し適時、行っている			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	野菜切り、食器拭きなど出来ることは一緒にする様に心がけている。入居者の希望でマクドナルドやカフェへ行く等、柔軟に対応している		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「何食べたい？」と皆に問いかけ、毎月1回リクエストメニューが登場している。皮むきや食器洗いなど役割意識をもって行っている方もいる。環境を替えて、外での食事メニューを取り入れる等利用者が楽しみながら参加できる様工夫している
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養士と相談して献立を作成している。個々に合わせて食形態を変えたり、摂取量をチェックしている			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケア、週一回の歯科往診にて口腔ケアを行っている。3ヵ月毎に歯科衛生士による口腔ケア指導を受けている		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、行っている。介助が必要な方には個々に合わせた方法で実施している。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄表を用いて個々の排泄リズムを把握し支援している。日中はトイレでの排泄に努め、立位の取れない方には二人介助で対応している		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	従来よりおむつをつけない支援に取り組んでいる。本人の状態によっては2人介助で対応している。トイレでの排泄を心掛け、なるべくおむつに頼らない介護に取り組んでいる。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安全の為、夜間帯は行っていないが、できるだけ希望に沿えるようにしている。菖蒲湯やゆず湯など季節感を出す工夫をしている			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の習慣や体調などを踏まえて支援している。体位交換やクッション等を利用し安楽な姿勢を保つ様に支援している			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各ユニットごと全員の処方箋を一つのファイルにまとめ、すぐに確認できるようにしている。処方変更があった場合は申し送りを徹底し様子観察をしている		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処方薬一覧をファイルに入れ、随時確認できるようにしてある。内服前に複数の職員で3重のチェックを行ってから内服してもらっている 処方が変わった時は申し送りを徹底している。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事、散歩、レクリエーションなど個々の趣向に合わせて実施している。PCでゲームをする方や飲酒する方もいる			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	花見や初詣、日帰り旅行では家族も一緒に外出した。散歩も心がけているが十分にできているとまでは言えない。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	トラブル防止の為、所持している方はいないが、職員が管理し自販機でコーヒーを購入したり、家族の了承を得て、おやつなどを買って食べる事がある			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訴えがあった時は電話や手紙の介助をしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	バリアフリー構造になっているが玄関の段差など危険箇所もあり注意している。混乱しやすい方の居室やトイレには名札を付けたり、イラストをつけて分かりやすくしている。季節の花や物を飾るようにしている		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニットごと利用者の笑顔の写真や季節に合わせた装飾がされている。ゆったりしたソファでは利用者同士が仲良く談笑している。
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の関わりの中で意向を聞きながらケアプランへ反映させるように努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に家族に生活歴や習慣、趣味、趣向を聞き、それを元に支援計画を立てている。自宅に荷物を取りに同行したり、友人のコンサートに出かける方もいる			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療職との連携が取れており、看護師より指示をもらえる。安全面ではヒヤリハットを元にその都度、対策を検討している		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療職との連携が取れており、気になる時は指示をもらえる。安全面ではヒヤリハットを元にその都度、対策を検討している
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事時間以外は、できるだけ個々のペースに合わせるように努めている。習慣であったことは出来る限り行えるように配慮している			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にできるだけ自宅で使用していた食器や家具など馴染みの物を持参頂いている。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にできるだけ自宅で使用していた家具など馴染みの物を持参頂いている。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている <u>C. あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	できるだけ希望に沿えるように努めているが、あまり行っていない。定期的に自宅に荷物を取りに同行したり、空き家の自宅が心配で様子を見に同行することがある	ちょっとした買い物やマクドナルドへの外食など希望を叶えることはできたが、一部の人に限られていることが課題。全員が同じようは無理なので、個々のレベルに合わせたことで多くの人に対応すればいいのではないかな？		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている <u>B. ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に合わせた家事やレクリエーションを実施している。自宅で使用していたゴルフのパット練習用具を持参頂き、楽しまれている方がいる			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている <u>B. ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員や入居者同士で談笑したり、家事などの役割を持ちやってくれる方も多い。一人で絵合わせや点繋ぎなどのゲームを真剣に行う姿が多くある。		A. 十分にできている <u>B. ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員や入居者同士での会話の中で笑いあう姿が多くある。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている <u>C. あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	近隣のイベントに参加したり、近隣の友人たちが面会に来られることも増えてきている。	近所の方が頻りに面会に来られる方がいる一方で、全く交流が無い方もいる。重度の方の機会については検討したい輝陽園では近隣の文化祭や夏祭りに参加している		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている <u>B. ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者同士や職員と談笑したり、家事などの役割を持ち生き生きと生活される姿を見ると概ね満足して頂いていると思っている。介護度の重い人の QOL については常に意識する様に努めたい	外出や行事を通して地域の方と接する機会は増やすことが出来てきている。「もっと外へ出たい」、「暇だから何かしたい」などの個々の要望や家族の要望に応えていくことがより良い生活に繋がると思う。家族で施設に入れたらあとはお任せという認識の方が多く感じる。同じ家族として、入居後も一緒に楽しむ様に家族も意識を変えて欲しい。職員としても、自分達がやらないと、家族に迷惑をかけてはいけないと思ってしまう部分がある。もっと家族とのコミュニケーションをとることで、うまくいくのではないかな？	A. 十分にできている <u>B. ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	総合的には、ほぼできている。地域との協働や交流については今後の活動に期待しています。